



詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

令和6年(2024年)第24週 2024年6月10日(月)~2024年6月16日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



◎咽頭結膜熱(プール熱)◎

アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもありました。通常、6月頃から徐々に流行しはじめ、7~8月にピークとなります。

感染経路

飛沫感染、手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染です。



症状

発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、のどの痛み、結膜炎に伴う結膜充血、眼痛、まぶしさを感じる、涙が出る、めやにが出る等があります。

治療について

特別な治療法はなく、対症療法が中心となります。咽頭結膜熱は高熱が比較的長く(5日前後)続くことがあります。ほとんど自然に治ります。ただし、生後14日以内の新生児に感染した場合は全身性感染を起こしやすいことが報告されており、重症化する場合があります。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときや、眼症状が強い場合には、早めに医療機関に相談してください。

予防について

流水と石鹸による手洗い、うがいや手指の消毒をしましょう。感染者との密接な接触や、タオルの共用は避けましょう。



定点種別	疾患名	状況	23週(6/3~6/9)		24週(6/10~6/16)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	-	14	0.56	8	0.32
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	99	3.96	153	6.12
小 児 科	RSウイルス感染症	/	18	1.13	11	0.69
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	8	0.50	7	0.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	159	9.94	123	7.69
	感染性胃腸炎	-	114	7.13	104	6.50
	水痘(みずぼうそう)	-	8	0.50	6	0.38
	手足口病	-	42	2.63	61	3.81
	伝染性紅斑(りんご病)	-	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	14	0.88	9	0.56
	ヘルパンギーナ	-	11	0.69	24	1.50
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	0	0.00	1	0.06
	眼 科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0
流行性角結膜炎(はやり目)		-	4	0.80	4	0.80
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし